

長野市伝統芸能団体

保存団体	フリガナ 団体名	ミナモリカグラホソノカイ 南堀神楽保存会		
	伝統芸能の 名称	南堀神楽		
	地区・ 行政区	朝陽地区・南堀区		
行事 (祭礼)	名称	秋の宵祭り	文化祭出演	
	場所	南堀区内	南堀公民館	
	時期	9月第4土曜日	11月上旬	
	内容	秋の宵祭りでは南堀区内を神楽の屋台で巡行し、区の役員宅や新築宅などで獅子舞を行い、最後は槻井泉神社で獅子舞(村舞、三番叟、本舞、狂い獅子)を奉納して五穀豊穰・無病息災・家内安全を祈願する。その他文化祭にて獅子舞(三番叟・村舞)を披露する。		
	いわれ ・特徴	江戸時代の文化6(1809)年には神楽があったことを示す記録が残る。天保年間には若衆が安全を祈願して神楽を奉納していたようである。その後、太平洋戦争になるまで続いていたが、途絶える。戦後、昭和20(1945)年に村の若者たちによって復活することとなり、今日まで受け継がれている。 昭和50(1975)年に子ども会を発足させ、小学生に神楽の伝統芸能を習わせる活動を開始。毎週土曜日に公民館で行う練習は、今も途絶えることなく続いている。令和2(2020)年に就任した現在の会長は、子ども会の2期生であり、45年の経験を持つ。副会長以下、多くの会員が子ども会出身という点が特徴であり、女性も多く、会長をはじめ、笛・太鼓・舞をオールラウンドにこなす役者が揃っている。		



